令和7年度　2年次生　学びのプラン

教科名	地理歴史	単位数 （コマ数）	2単位 （2コマ）	履修年次	2年次
科目名	世界史概論	履修	選択	開講	通年
教科書		副教材	明解世界史図説エスカリエ(帝国書院)		

1　学習の目標

みなさんは1年次の「歴史総合」で、近現代の一体化したグローバルな世界の歴史を学びました。しかし、それ以前の世界は諸地域間の交流が限られており、その地域特有の社会が形成されていました。それを知ることにより歴史の見方や考え方を多面的に深め、現代の国際社会を理解するための羅針盤とします。

2　学習の方法

・単に多くの語句を暗記するだけではなく、その意味や関連を考えながら学習をしてください。

・「何年に何が起こった」といった具体的な事実だけではなく、「革命がなぜ起こったのか」「戦争はどういう影響を与えたか」など背景や影響など繋がりをもって学習してください。

・地図や資料の読み取りを大切にしてください。

3　評価について

①評価の観点

知識・技能	古代から近世にいたる世界の諸地域の歴史について学び、基本的な知識を習得するとともに、歴史的事象が現代社会にどのようにつながっているのかを理解できているか。
思考・判断・表現	身につけた知識から、社会的事象のの本質や人間としてのあり方について多面的・多角的に考察し、その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現できているか。
主体的に学習に取り組む態度	自らの資質・能力を高めるべく、意欲的・主体的に学習に取り組み、歴史への理解を深めようとしているか。

②評価の方法

材料／観点	定期考査	ノート	プリントワーク	話し合い			評価方法
知識・技能	○		○				左記の○のうち、定期考査を重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、状況と努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
思考・判断・表現	○		○	○			左記の○のうち、定期考査をやや重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
主体的に学習に取り組む態度		○	○	○			左記の○を総括しA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。

4　その他

・授業の進度により年間計画が変更になる場合があります。

5　単元の目標・評価

単元名	文明の成立と古代文明の特質		
単元の目標	いわゆる「四大文明」の成り立ちを諸民族の動向を軸に捉え、他地域の文明に与えた影響についても学びます。		
育成を目指す力	行動・挑戦力　課題解決力	**創造力**　発信力	自己管理力　継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク		
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	オリエント世界の諸民族の特徴と歴史的動向について、基本的知識を習得している。	オリエント文明の歴史的遺産について、その意義を考察し、説明することができる。	オリエント文明の歴史的遺産について、その意義を考察し、説明することができる。

単元名	中央ユーラシアと東アジア世界		
単元の目標	中華文明の誕生から中国歴代王朝の変遷を、遊牧社会との関わりに留意しながら学びます。また、中国と朝鮮・日本の交流を政治・社会・文化など多方面から学び、双方が受けた影響について学びます。		
育成を目指す力	行動・挑戦力　課題解決力	**創造力**　発信力	自己管理力　継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク		
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	王朝の変遷を軸とした中国の各時代の特徴と遊牧社会との関わりについて基本的知識を習得している。 中国の制度や文化が周辺諸国に与えた影響について基本的知識を習得している。	中国の各時代の特徴が何を背景に成立したか考察し、説明することができる。 日本の社会や文化が中国から受けた影響について考察し、説明することができる。	東アジア、中央ユーラシアの歴史的成り立ちについて興味を持ち、解明しようとしている。 日本の歴史における中国との関わりに関心を持ち、日本の社会や文化が大陸から受けた影響について意欲的に学ぼうとしている。

単元名	南アジア世界と東南アジア世界の展開		
単元の目標	インドを中心とした南アジア文明の特徴を宗教を軸に学びます。また、この地域の東アジア、西方世界など他の文化圏との交流についても学びます。		
育成を目指す力	行動・挑戦力　**課題解決力**	創造力　発信力	自己管理力　継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク		
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	インダス文明から古代インドの諸王朝の展開について、基本的知識を習得している。 カースト制度とインドにおける宗教の特徴について基本的知識を習得している。	南アジアの各時代の特徴を宗教に関連づけて考察し、説明することができる。 現在にいたるインドの社会問題について、カースト制度や宗教対立を背景に考察し、説明することができる。	南アジアの歴史や宗教、社会の様相に関心を持ち、疑問点を解明しようとしている。 カースト制度やインドの宗教について学んだことをもとに、インドの社会問題について考察しようとしている。

単元名	西アジアと地中海周辺の国家形成					
単元の目標	オリエントの歴史の成り立ちを諸民族の動向を軸に捉え、他地域の文明に与えた影響について学びます。また、地中海文明の歴史的動向について理解し、その後のヨーロッパ世界に与えた影響について学びます。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	オリエント世界の諸民族の特徴と歴史的動向について、基本的知識を習得している。 ギリシア世界やローマ世界の歴史的動向とその後の世界史に与えた影響について基本的知識を習得している。		オリエント文明の歴史的遺産について、その意義を考察し、説明することができる。 ギリシア文明やローマ文明がヨーロッパをはじめとしたその後の世界に与えた影響について考察し、説明することができる。		現代の世界が古代オリエント世界から引き継いでいる事項に関心を持ち、考察を深めようとしている。	

単元名	イスラム教の成立					
単元の目標	イスラム教誕生の背景と宗教上の特徴を捉え、その後の発展の動向について学びながら、イスラム世界の世界史における意義について理解します。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	イスラム教の誕生と宗教上の特徴について基本的知識を習得している。 イスラム諸王朝やイラン人やトルコ人などのイスラム民族について基本的知識を習得している。		イスラム教が世界で大きな位置づけを持つようになった理由について考察し、説明することができる。 イスラム世界が他の諸地域に与えた影響について考察し、説明することができる。		今日のイスラム世界で起こっている諸事件について、その歴史的背景を捉えようとしている。 現代社会において、私たちがイスラム教徒に人々とどのように接していくべきかを考えようとしている。	

単元名	ヨーロッパ世界の形成と発展					
単元の目標	ヨーロッパ世界の歴史的動向について、キリスト教や西アジア世界との交流に着目しながら学びます。また、近世以降の歴史とどのようにつながっていくのかを理解します。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	ゲルマン民族大移動からヨーロッパ各国成立にいたる歴史的動向について基本的知識を習得している。 ヨーロッパ世界の社会的、経済的特徴について、基本的知識を習得している。		ヨーロッパ世界の政治、経済、社会、文化についてキリスト教が与えた影響について考察し、説明することができる。 西ヨーロッパ世界の発展に東方世界が与えた影響について考察し、説明することができる。		ヨーロッパ社会の特徴、特に日本をはじめとしたアジア諸地域の社会との違いに関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。	

6　　年間計画

学期	月	単元		項目	予定時数	考査
前期	4 5	文明の成立 古代文明の特質		先史時代 古代オリエント世界	12	前期中間考査
前期	6 7 8	東アジア世界 南アジア世界	中国の古典文明 インドの古典文明 インドのイスラム化	中国文明と秦漢帝国 分裂期の中国と隋唐帝国 インダス文明とアーリア人社会 新宗教と国家統一	20	前期期末考査
前期 / 後期	9 10 11	古代オリエント文明 イスラム教の成立	古代オリエント世界 ギリシア世界 ローマ世界 イスラム世界の成立と発展	メソポタミアとエジプト 諸民族の興亡と統一王朝 エーゲ文明 ポリスと民主政治 ローマ帝国の成立と繁栄 キリスト教の成立と発展	15	後期中間考査
後期	12 1 2	ヨーロッパ世界の成立	西ヨーロッパ世界の成立 東ヨーロッパ世界の成立 ヨーロッパ中世世界	ゲルマン民族とフランク王国 封建制とローマ教会 ビザンツ帝国とスラブ人 十字軍と封建社会の変容 商業の発展と都市 中央集権化の推進	16	後期期末考査
後期	3	ヨーロッパ世界とアジア世界		ヨーロッパ世界とアジア世界の社会、文化の違いを考察する。	7	